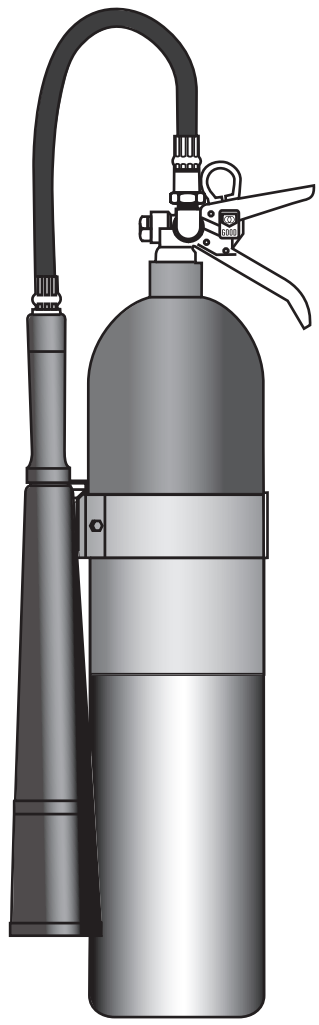
取扱説明書

HATSUTA 船舶用 炭酸ガス消火器

国土交通省型式承認品

船舶用持運び式 炭酸ガス消火器

該当器種 ●ストップ付 **SHC-11**



このたびは、ハツタ消火器をお買い求めいただきまことにありがとうございました。ご設置、使用される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい設置、正しい使い方をしてください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

株式会社 初田製作所

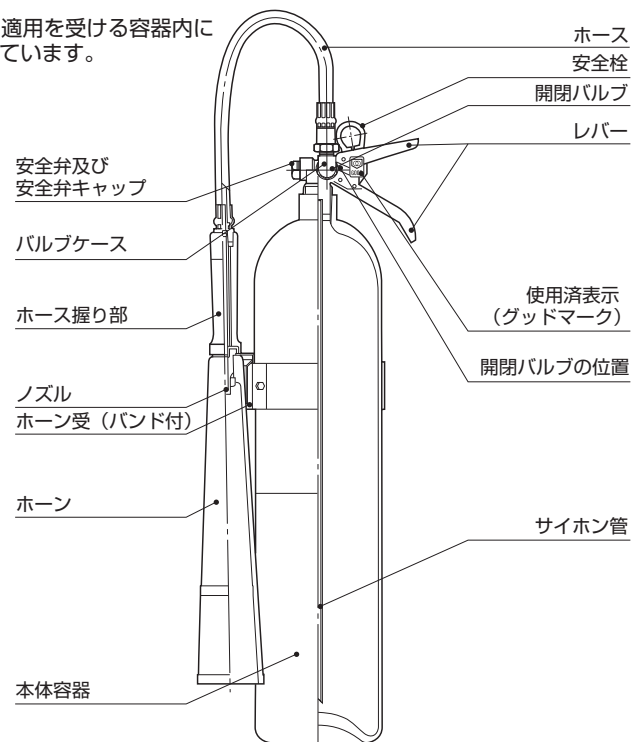
消火器は圧力容器です。取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。

●取扱説明書では、ご使用上の注意内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害、損害の程度を「危険」「警告」「注意」で表示しています。

⚠危険	取扱い上容器が破裂し重大な人身事故が発生し、「死亡または重傷などを負う切迫した危険状況を示す」内容です。
⚠警告	設置上及び使用上「死亡または重傷などを負う潜在的な危険状況を示す」内容です。
⚠注意	設置上及び使用上「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

各部のなまえ・構造図

●高圧ガス保安法の適用を受ける容器内に炭酸ガスを充填しています。



構造図

SHC-11はストップ付タイプです。
ストップ付は、一度放射させても上レバーから手を離すと放射を途中で一時的に止めることができ有効放射が行えます。
放射動作を行い、ストップした消火器の内部圧力は時間の経過と共に下がり、圧力保持はできません。

●消火器には適応火災が表示されています。
適応火災はその種の火災に適していることを意味します。
●消火器はあくまで初期消火に威力を発揮しますが、火災規模、状況等により、どんな火災でも消火できるとは限りません。
そのため、 正しい使用法に基づいて消火器を使用したにも拘らず消火できなかったことによる人的、物的損害についての賠償の責はご容赦願います。

適応火災

この消火器は、広範囲な場所に適応していますが、とくに電気関係施設や精密機械・機器火災の消火に威力を発揮します。

油火災	電気火災
灯油、ガソリンなどが燃える火災。	感電の恐れがある電気設備器具などの火災。

★炭酸ガス消火器は普通火災には適応していません。

使用方法

❶上レバーの黄色の安全栓を上方向に引き抜く。
❷ホースをはずし、火元に向ける。
❸上下レバーを強く握り、火元を手前からはくようにして放射する。

使用後について

使用済の消火器は、販売店に依頼し速やかに再充填するか新しい消火器を設置してください。 絶対に分解しないでください。

消火器の回収・リサイクルについて

※回収、廃棄の際は専門業者又は以下の電話番号にお問い合せしてください。
※なお回収、廃棄処理には、費用がかかりますので有料処理となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

回収・リサイクル相談窓口　お問い合せ・ご相談はフリーダイヤルでどうぞ　**0120-82-2306**
電話受付時間 10：00～12：00, 13：00～17：00（土・日・祝日を除く）
http://ferecycle.jp

製造元 株式会社 初田製作所
本社　〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3丁目5番地
http://www.hatsuta.co.jp

ユーザー登録について

弊社より、今回ご購入いただきました製品に対する
①メンテナンス案内
②新製品案内
③交換時期のご案内
を実施したく、ユーザー登録を、併せてお願いいたします。

ユーザー登録は、下記 URL にアクセスください。
スマートフォンからは、左記パターンにてアクセス可能です。
http://hatsuta.co.jp/user/
※ユーザー登録は、日本国内のみサービスを提供します。

アフターサービスについて

お客様相談窓口　お問い合せ・ご相談はフリーダイヤルでどうぞ　**0120-82-2041**
電話受付時間 10：00～12：00, 13：00～17：00（土・日・祝日を除く）

販売店

取説151-1504

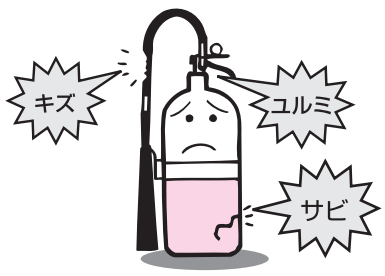
必ずお守りください

⚠ 危険

消火器本体容器の破裂等により人身事故発生の恐れがあります。該当する消火器は絶対に使用しないでください。また、取扱いは十分ご注意ください。

1.サビ・傷・変形・キャップ及び部品のゆるみ、脱落のあるものは絶対に使用しないでください。

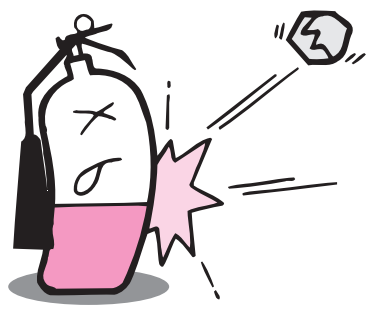
設計標準使用期限（10年）以内の消火器でも該当するものは、使用しないでください。



2.分解しないでください。

3.消火器は圧力容器です。消火器に強い衝撃を与えないでください。

本体容器の破裂等により人身事故発生の恐れがあります。



※消火器を廃棄される場合は必ず回収・リサイクル相談窓口にご相談ください。

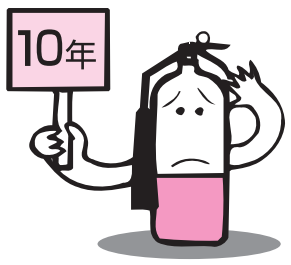
⚠ 警告

1.極端に湿気の多い場所、腐食し易い場所に設置しないでください。

2.作動温度範囲を超える場所に設置しないでください。

3.絶対に人に向けて放射しないでください。

呼吸困難や危害発生を招く恐れがあります。



4.狭い密閉した部屋では使用しないでください。

CO_2ガスにより窒息の恐れがあります。

5.火元から3m以上離れてから放射を開始してください。

6.避難経路を確保しながら消火してください。

7.設計上の標準使用期限（10年）を超えて使用すると、経年劣化によりけがなどの事故になる恐れがあります。

8.設計標準使用期限を過ぎたものは交換を推奨します。

9.定期的に点検を実施してください。

10.消火器の清掃は、水や有機溶剤（ガソリン、ベンジン、シンナー等）及び中性洗剤を使用しないでください。

サビ、ホースの変質の原因になります。乾いた布等による清掃をおすすめします。

⚠ 注意

消火器を専用ブラケットに取付ける際には、消火器が確実に固定されていることを確認ください。バンド付きのブラケットは、止め金を最後まで確実にセットしてください。

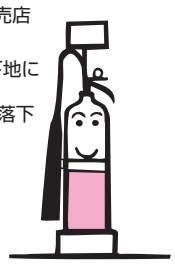
設置上の注意

1.通行又は避難に支障がなく、すぐに持ち出せる場所に設置してください。

2.振動や衝撃で消火器が転倒・落下しないように壁掛金具、設置台、格納箱を使用し設置してください。

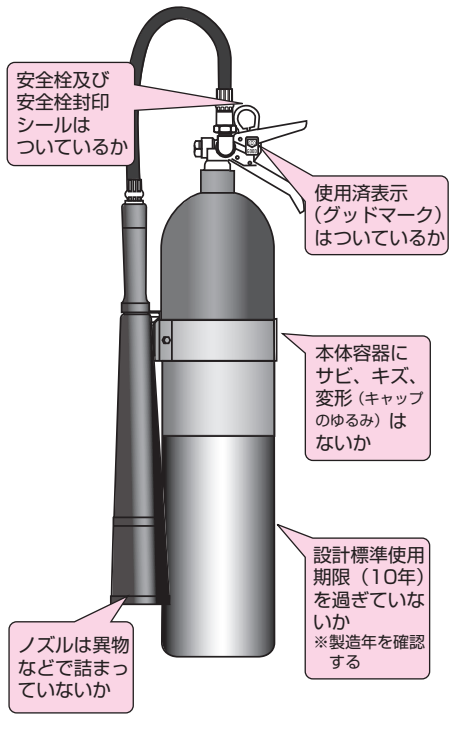
※壁掛金具、設置台、格納箱は販売店にお申し付けください。

※壁掛けの場合、必ずビスは木下地に取付けてください。
石膏ボード等のみでは消火器が落下することがあります。



3.外観を観察してください。

異常を発見した場合は、有資格者又は販売店にて整備等の処置をしてください。



使用上の注意

1.適応火災は消火器本体のラベル表示と、この取扱説明書を確認ください。

（燃焼物によっては適・不適があります。）

2.消火器は初期消火をする器具です。消火範囲にも限度があります。

火災の大きさ、消火開始の時期、適応火災の条件により消火できない場合があります。

消火に際して

- ●ムリな消火活動はしないでください。火災拡大の恐れがあります。
- ●消火に際しては、避難経路を確保して消火してください。
- ●屋外での消火は風上より消火してください。

●消火以外の目的（冷却等）に使用しないでください。

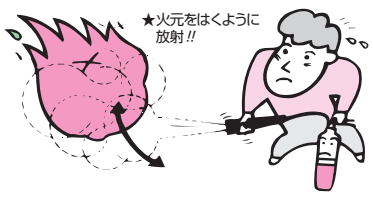
3.炭素ガス消火器はかなり重いので持ち運びには注意してください。

4.ためし放射をしないでください。

そのまま放置すると使用できなくなります。

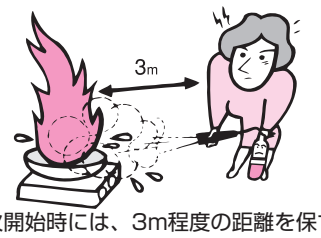
5.正しい使用方法で消火してください。

消火器本体容器のラベルに表示している使用方法に従って消火してください。



6.消火の際、火に近付き過ぎないようにしてください。

とくに油火災の場合、油の飛散や、炎の吹き返しにより火傷等の恐れがあります。



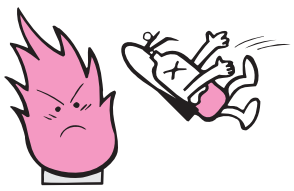
消火開始時には、3m程度の距離を保ち、炎がおさまるにつれて接近してください。

7.ホース握り部をしっかり握って消火してください。

凍傷の恐れがあります。ホース握り部を手放すと放射方向が定まらず消火ができなくなります。

8.消火器は絶対に火中に投げ込まないでください。

消火器が破裂するなど大変危険です。
正しい使用方法で消火してください。



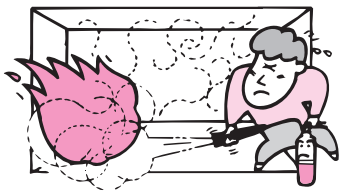
9.放射時には本体を垂直にして使用してください。

斜めにすると放射の状態が悪くなります。
絶対に逆さにして使用しないでください。

10.電気設備の火災は可能な限り電源を切ってから消火してください。

11.換気の悪い狭い部屋や密閉した室では使用しないでください。

消火薬剤（炭酸ガス）や、火災による発生ガスは人体に有害です。吸わないでください。換気の悪い狭い部屋での消火は行わないでください。



12.ホーン、ホースにキレツのあるもの、ノズルが離脱しているものは使用しないでください。

13.黄色い安全栓・使用済表示（グッドマーク）の付いていない消火器は使用済です。

速やかに販売店へ連絡して再充てんするか、新しい消火器に交換してください。

使用後の注意

1.消火後は、速やかに換気してください。

炭酸ガスが充満しています。
吸わないように速やかに換気してください。

2.ガスが関連した火災ではガスの元栓を必ず締めてください。

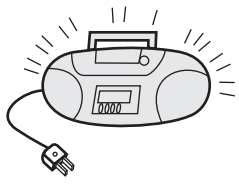
3.消火薬剤を大量に吸ったり、目にかかった場合。

速やかに医師の診察を受けて適切な処置をしてください。

4.消火薬剤が器物にかかった場合。

消火薬剤を放射すると、消火後一時空気中の水分が凍り霧状のものが発生しますが、自然に消えます。また、炭酸ガスは気化しますので消火薬剤による汚損はありません。

●電気器具は、絶縁性を調べた後、通電してください。



5.消火器を使用したら速やかに販売店に依頼し再充填してください。